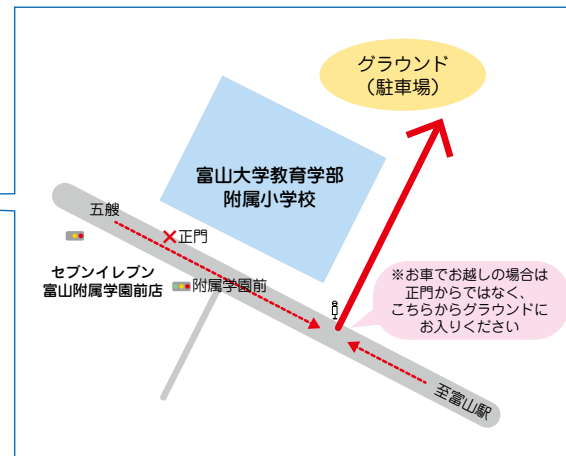
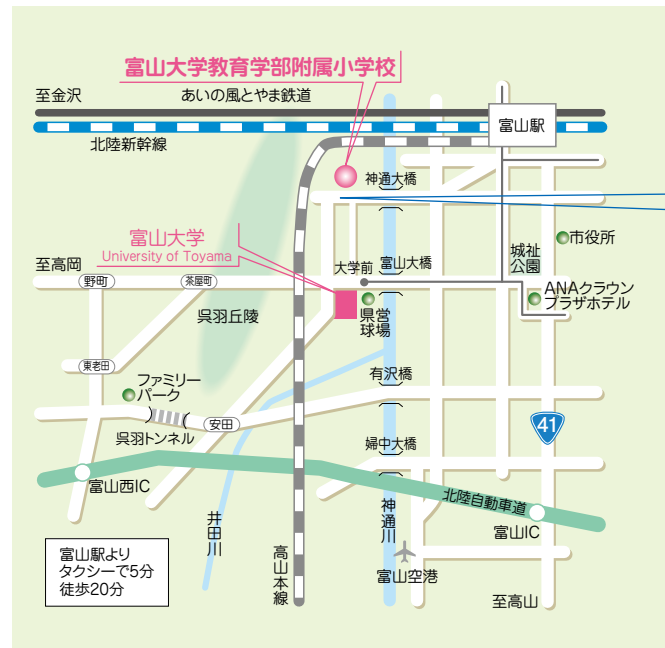


公開授業指導助言一覧

国語科	富山大学教育学部	准教授	宮城 信 先生
国語科	富山大学大学院教職実践開発研究科	准教授	増田 美奈 先生
社会科	富山大学教育学部	准教授	岡田 了祐 先生
算数科	富山大学教育学部	教授	石川 秀明 先生
理科	富山大学教育学部	教授	月僧 秀弥 先生
体育科	富山大学教育学部	講師	白石 翔 先生
道徳科	富山大学教育学部	講師	児島 博紀 先生
外国語	富山大学教育学部	准教授	小木曽智子 先生
特別活動	富山大学教育学部	講師	持田 洸 先生

アクセス



2026年度 教育研究発表会のご案内



他者とともに編む 2年度

～他者とともに編む
子供を育てる手立て・条件を探る～

2026
11/21^土

ご挨拶

本校では、昨年度より、「他者と関わり、自己を成長させていく子供」を目指して、研究主題「他者とともに編む」を設定し、研究を進めています。「編む」とは、関わりの具体的な行為や内面の働きの総称であると置き、初年度は「他者とともに編む子供」の様相を授業から探りました。

本年度は、「他者とともに編む子供を育てる手立て・条件を探る」を副題に掲げました。課題の解決や目当ての達成に向けて関わり合う子供が表出する行為や内面、その関連等の事実を捉え、考察します。そして、自己を成長させていく子供を育てるための単元構想や本時の授業づくり、効果的な教師の手立て等を明らかにします。

皆様にご参会をいただき、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

校長 草野 剛

- 右の2次元コード、または本校ウェブサイトで11月19日(木)17:00までにお申し込みください。
- 当日、受付にて資料代500円をお支払いください。(学生は無料です。)
- 自家用車で来校される方は、グラウンドに駐車してください。



教育研究発表会申し込み

お問い合わせ

〒930-8556 富山県富山市五艘1300
TEL 076-445-2803 FAX 076-445-2802
e-mail fzkes@edu.u-toyama.ac.jp URL https://fes.u-toyama.ac.jp

受付	8：30～8：50
全体会	9：00～9：30 「他者とともに編む」（2年度） 他者とともに編む子供を育てる手立て・条件を探る （本校研究部長：保井 海太郎）
公開授業Ⅰ	9：45～10：30
	国語科1年1組 中村 健志 かんどうってなんだろう？ 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 算数科1年2組 中山 翔 かたちあそび ～いっぱいつかってなにしよう～
	体育科2年1組 齊藤 嵩之 あえてしにくくするあそび2.0 国語科2年2組 神田 靖大 わたしには、こう見える 「みきのたからもの」
	社会科4年1組 高田 真光 残したいもの伝えたいもの ～合掌集落を守り継ぐ～ 理科4年2組 荒城 光 水の3つのすがた ～水はどのようにすがたを変えるのだろうか～
公開授業Ⅱ	道徳科5年2組 新保 拓実 みんなが楽しい学校って、何だろう？ [C-16] よりよい学校生活、集団生活の充実
	10：45～11：45
	12：45～13：30
	外国語活動3年1組 桑山 賢司 すきなものいっぱい！クリスマスカードを協力して作ってプレゼント！ Unit7 This is for you. 算数科3年2組 神田 将義 〇〇をどのように表す？～分数～
協議会Ⅱ	社会科5年1組 牧田 健太郎 環境とくらし ～わたしたちは公害から何を学ぶのか～ 学級活動5年2組 新保 拓実 あったかハートのクラスをめざそう ～私の「好き」から、みんなの「楽しい」へ！～
	理科6年1組 保井 海太郎 土地のつくりと変化 体育科6年2組 鳥山 大輔 コンビで攻めてアタックNo.1！ キャッチハイキュー
協議会Ⅱ	13：45～14：45

講演15：00～16：30

演題「多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに
ー学習指導要領の改訂に向けてー」

講師文部科学省初等中等教育局 主任視学官 田村 学 先生

本校の研究の取組

令和7年度の研究より「他者とともに編む」子供の様相

- ・「～したい」と動き出す子供
- ・「あれ？」と違和感をもった表情を見せる子供
- ・「〇〇だと思うけれど…」など、はっきりしない表現をする子供

＜研究を進める中で生まれた問い＞

- ・「〇〇さんは、誰との、どのような関わりによって揺らいだのか？」
- ・「〇〇さんには、どのような背景があるから揺らいだのか？」
- ・「揺らいだ〇〇さんは、他者や教材にどのような関わりを求めたのか？」

令和8年度の研究より「他者とともに編む」子供を育てる3つの条件

条件1 多様な学びが生まれる授業デザイン

条件2 他者との関わりが生まれる授業デザイン

条件3 子供が追究に向かう授業デザイン

※これら3つの条件については、研究概要発表で詳細をお伝えします。

「あったか教育」の取組

本校では、学習や生活の基盤となる温かな心の育成を目指して、「あったかハート附属っ子」に取り組んでいます。本年度はその取組の一つである学級活動を公開します。

「あったか教育」の柱

- 1 全校一斉あったかハート推進週間
月に1回、道徳科・学級活動を中心とした授業を実施
- 2 温かな心を育む環境づくり
「あったかハートの木」「あったかハートTV」「ちござくらコンサート」
- 3 自己存在感、自己有用感を高める教育活動
縦割り班で行う「なかま活動」、低中高学年で行う「フロア集会」、異学年異校種交流
- 4 子供の心に寄り添う対応
アンケートと教育相談の実施、相談体制の充実

文部科学省指定「教育課程柔軟化サキドリ研究」の取組

今年度より、現行の学習指導要領によらず、「調整授業時数制度」を先取りするような形で教育課程を編成・実施し、研究開発に取り組んでいます。

令和8年度授業時数調整の概要 ※全学年、各教科等から45単位時間減じ、振り分けを行う

- 1 生活科の時間や総合的な学習の時間に新たに「情報」の学習（10単位時間）を実施
- 2 児童の資質・能力の育成に特に資する活動として、探究活動を主とした「ちござくらタイム」の学習（25単位時間）を実施
- 3 学習の構想・計画等を含めた教師の組織的な研究・研修等の時間（10単位時間）を実施